

2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	環境リハビリテーション科学研究会
活動テーマ	災害時における障がい者支援技術の向上を目指して



1、2022 年度はコロナ禍における避難の情報共有や、障がい者の身体的特性を学び災害時における基本的サポートを学んだ。特に岡山県真備地区自治会との会議の中で自治会の活動などにおける一般の方の参加者との交流を通し課題を解決し拡大してゆくことの重要性が認識できた。また、岡山県豪雨災害の真備地区で発災した水害による避難の状況とその後の施設の改善状況や今後の災害対策の課題と解決方法の提案を共有することが可能となった。さらに、多くの障がい者を団体で避難した際の障がい者のサポート方法の実態や反省点、今後の課題の解決方法の検討をすることが可能となった。

2、講演会において障がい者の対応を広く周知した

西日本豪雨において被災した高齢者施設代表者をお招きし、施設入所者との避難の状況や避難所運営経験に関してご講演いただいた。今回の講演会により障がい者災害時支援の歴史や豪雨時の心的状況やその後の施設の改善、現状など情報を共有し、震災と異なる対応方法を学ぶことが可能となった。また、岩手県社会福祉協議会のご協力により被災地の現状と今後の対策を画像動画としてまとめた。2023 年度の活動は 2022 年度の内容をブラッシュアップし計画しており、コロナ対策をしつつオンラインと対面とのハイブリッド型の活動に移行し、具体的な技術伝達により効果的かつ具体的な行動変容に結び付け知識技術伝達を実施していきたいと考える